とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0329
施設名	多摩保育園
施設所在地	昭島市東町５－１－４０
法人名	社会福祉法人　多摩育児会

１．活動のテーマ

＜テーマ＞

「小麦粉粘土を作って遊ぼう」

＜テーマの設定理由＞

小麦粉粘土の感触を楽しむ。
ちぎったり・こねたり、手をたくさん使って遊ぶことを楽しむ。

２．活動スケジュール

６月位～　雨天の日に小麦粉粘土作りをした。子どもたちが興味を持ち楽しそうに遊んでいたので、一年近くを通して継続的に活動が出来るようにした。

３．活動のために準備した素材や道具、環境の設定

小麦粉　油　水　塩　クリームオブタータ
粘土あそびが出来る広いスペース

４．探究活動の実践

＜活動の内容＞

子どもたちがそれぞれに遊んでいる中で、声を拾い見立て遊びをしていた際には「〇〇だね」と子どものを思いを汲み取って一緒に粘土あそびをし遊びを広げていった。

＜活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり＞

保育者が粘土を作っている様子に興味を持ち、出来上がりを待ちきれず声を出したり、仕草などで保育者に「やりたい」と伝えていた。
手渡されると、すぐに遊び始める子や、触る事をためらい手を後ろにし触れない子もいた。
保育者が遊んでいる姿を見せると少しずつ興味をもって楽しむ姿が見られた。

５．振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

初めは興味を示さず触れない子もいたが、何度も遊ぶうちに最後は粘土に触れることが出来た。子どもたちによっては、遊ぶ時間も増え集中して遊んだり遊び方もちぎったり伸ばしたりなど個々に広がっていた。子どもたち同士で遊ぶ姿も見られ自分で作ったものを保育者や友だちに見せてくれた。
粉・水・油などが粘土になっていくことを興味深く見ていた。

小麦粉粘土で遊んでみよう。

小麦粉粘土であそびました。小麦粉粘土は小麦粉に水と油を混ぜてこねることで、粘土になります。普通の小麦粉が粘土になっていく様子をじっと見つめだんだん変化していく様子やどんな物なのか気になり自然と手が伸びていました。

これがね…
今から何かに
変身するよ

大きな○の形を手渡し、保育者がちぎってみると同じ様に小さくちぎっていました。

ちぎちぎしたら
小さくなった!!

なんのかたちに
しようかな??

⇧ 作っている様子

初めは上手くちぎれなくても、あきらめずには頑張って上手にちぎっていました。

ツンツンツン…
ゆびの形がついた…

いいにおいが
する!!

ふわふわでペタペタする触り心地に夢中になって触っていました。

ちっちゃいの
いっぱいできたね…

子どもたちの発達や興味に合わせて、粘土の提供方法を変えて遊びました。

鼻に近付けて匂いを嗅いでみたり、小麦粉のいい匂いに思わず運びそうになったり…

感触遊びを五感で楽しみました。

これからも感覚を刺激しながら遊ぶことを大切にしていきたいです。